

とちぎ いにしへの回廊 **七** 暮らしを支えた水と川

【表紙写真：左上から】 往時をしのび鬼怒川をゆく小鵜飼船(昭和7[1932]年撮影：さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館蔵) / 鈴木屋岡部呉服店団扇絵(岡部記念館金鈴荘蔵) / 今市用水門筒分水井 / 今市浄水場沈殿池築造(宇都宮市上下水道局蔵) / 木須川洞門 / (写真右最下部) 那須疏水第二分水堰

「とちぎ いにしへの回廊」とは

古くから自然と人間のかかわりを通じて、人びとの生活の中から生まれ、大切に守り伝えられてきた文化財。「とちぎ いにしへの回廊」は、栃木県内に残る貴重な文化財を新しい視点で紹介することで、文化財という「宝」を知ってもらい、また新たな魅力を発見してもらおうプロジェクトです。

「とちぎ いにしへの回廊」では、7つのテーマ(川と古墳、東山道、中世武士団、日光への道、近代化遺産、おくのほそ道、くらしと水)を設けました。本パンフレットは7番目「くらしと水」をテーマとしたルートマップです。

また「とちぎ いにしへの回廊」専用WEBサイトを開設しました。こちらでは県内の文化財やお祭り・伝統行事の開催情報などを随時提供しています。ぜひチェックしてみてください。



<https://www.inishie.tochigi.jp>

関係連絡先一覧 (平成30年2月現在)

栃木県教育委員会事務局文化財課 ☎028-623-3424

宇都宮市教育委員会事務局文化課 ☎028-632-2768

小山市教育委員会事務局生涯学習課 ☎0285-22-9669

さくら市教育委員会事務局生涯学習課 ☎028-686-6621

那須塩原市教育委員会事務局生涯学習課 ☎0287-37-5419

日光市教育委員会事務局文化財課 ☎0288-25-3200

真岡市教育委員会事務局文化課 ☎0285-83-7731

市貝町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0285-68-0020

高根沢町教育委員会事務局生涯学習課 ☎028-675-3175

芳賀町教育委員会事務局生涯学習課 ☎028-677-0009

茂木町教育委員会事務局生涯学習課 ☎0285-64-1023

写真提供・協力者 (敬称略)

宇都宮市上下水道局 / 小田原市報徳二宮神社 / 小山市立博物館 / さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館- / 栃木県立博物館 / 那須野が原博物館 / 報徳博物館 / 真岡市観光協会 / 真岡市教育委員会 / 茂木町教育委員会

発行 栃木県教育委員会事務局文化財課

〒320-8501 栃木県宇都宮市瑞田 1-1-20

※「マップコード」および「MAPCODE」は(株)デンソーの登録商標です。

2018(平成30年) 1月 第1刷発行



二宮尊徳坐像(部分) / 岡本秋暉筆、小田原市報徳二宮神社蔵、報徳博物館提供

街道がつくられ、人々が往来し、「モノ」だけでなく、「文化」も行き交いました。実は道だけではなく、川も重要な交通路でした。今ではその役割は少なくなっていますが、現在でもあちこちで名残を見ることが出来ます。水を得るための人々の知恵と工夫、そして苦闘がわかる文化遺産が、今なお、栃木県には数多く残されているのです。



岡田八兵衛(宗山)のひ孫が建立した導水碑と水神塔(芳賀町指定史跡：芳賀町東水沼)



国選択無形民俗文化財「間々田のジャガマイタ」の「水呑みの儀」。雨乞いや豊作、疫病退散を願う(小山市間々田)

わたしたちの生活にとって欠かせないもの。それが水です。水を生活に取り込む人びとの知恵と工夫は、縄文時代の遺跡、寺野東遺跡から発見された食料加工に使われた水場遺構から、四千年以上も前から続いていることを知ることができます。田畑の豊かな恵みにも水は欠かせません。人々は、水を確保するためにトンネルを掘り、ため池を作るなど、さまざまな工夫をしてきたのです。さらに、豊作をもたらす恵みの雨を願って祈りを捧げました。水との深い結びつきは、各地に伝承となって伝えられています。荒廃した田畑を再生させるために、二宮金次郎(尊徳)やその弟子が力を尽くすことにもなりました。



江戸時代から明治中頃まで、思川の重要な河岸(船着場)だった乙女河岸を復元した模型(小山市立博物館提供)

歴史への いざない 暮らしを支えた水と川



七

暮らしを支えた水と川

とちぎの先人たちの知恵を辿る



歴史への いざない

ぼろり 散策

ぶらり 散策

開拓地・ 那須野が原を潤した 那須疏水を歩く

🅑 駐車場 🅕 トイレ 🗺️ マップコード



国指定
史跡
那須疏水公園
那須塩原市西岩崎

那須疏水旧取水施設

断崖に造られた石の水門。明治18(1885)年、那珂川の絶壁にトンネルを掘って造られた取入口。その後、明治38(1905)年に第二取入口が造られた。

🅑🅕 (那須疏水公園) 📞 548 448 198*61
🅕🅕 (那須疏水公園・冬期は使用不可)



市指定
史跡
那須開墾社第二農場歴史公園
那須塩原市三区町

那須開墾社烏ヶ森農場跡

明治19(1886)年、那須野が原の農場の中で最大規模を誇った那須開墾社の第二事務所の跡地。敷地の北・西・東側には防風用の土手が築かれ、お堀には那須疏水が引かれていた。

🅑🅕 🅕🅕



那須野が原博物館
那須塩原市三島

第三分水三島堀

明治18(1885)年、那須疏水の開通式が行われた三島農場事務所跡(市指定史跡)を囲むように造られた。第三分水の支線として水を引き込み、主に三島農場で使われていた。

🅑🅕 🅕🅕 (那須野が原博物館)

「くらしを支えた水と川」関係年表 時代区分 年代 関係文化遺産 出来事

縄文時代後期
約4,000年前 寺野東遺跡 水場遺構がつくられる

奈良時代
8世紀中頃 姥ヶ池 勝道上人誕生時の産湯に使われたという

安土桃山時代
慶長5(1600)年 乙女河岸跡 徳川家康、会津の上杉景勝討伐にあたり、荷物を乙女河岸から陸送

江戸時代
17世紀初め 船玉神社 阿久津河岸が造られる

明暦2(1656)年 市の堀用水 宇都宮藩家老の山崎半蔵が市の堀用水を切り開く

17世紀末 高麗神社 この頃には天祭が行われていた(神社創建は16世紀中頃とも)

宝永3(1706)年 唐桶溜 地元の豪農・岡田八兵衛(宗山)が鬼怒川から水を引き完成させる

文政6(1823)年 桜町陣屋跡 小田原藩主の命で、二宮金次郎(尊徳)が下野国桜町領(現・真岡市物部地区)に赴任

文政10(1827)年 大前神社 二宮金次郎が親所に籠り、穴川用水改修の成功を祈念

安政6(1859)年 二宮堰 二宮金次郎の弟子・吉良八郎が苦難の末に完成させる

幕末 岡部記念館 真岡の鈴木屋岡部呉服店、宇都宮の鈴木呉服店からのれん分けして開店

間々田八幡宮 名主宅を境に、北と南で各1体ずつ蛇の模型をつくって祭りを行っていた

入郷石畑の棚田 山間地を切り開いた稲作地

明治時代
明治18(1885)年 那須疏水旧取水施設 那珂川の絶壁に第一次取入口が完成

明治19(1886)年 那須開墾社烏ヶ森農場跡 那須開墾社第二事務所が建てられる

明治19(1886)年 第三分水三島堀 第三分水が完成

明治末期 小川家住宅 肥料問屋「車屋」が乙女河岸から日光街道沿いへ移転

大正時代
大正3(1914)年 宇都宮水道資料館 上都賀郡今市町(現・日光市)の今市浄水場に建築

大正5(1916)年 木須川洞門 完成。事業費は4,424円

昭和時代
昭和28(1953)年 今市用水円筒分水井 所野第三発電所建設に伴う県営今市用水改良事業の一環として完成

ふかく知る 博物館・資料館

小山市立博物館

【所在】小山市乙女1-31-7
【問】0285-45-5331【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日、県民の日の場合は開館)祝翌日(土日の場合は開館)年末年始(12月28日～1月4日)特別整理期間(年1回、10日以内)【料金】無料(企画展開催時は有料)【駐車場】あり



さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—

【所在】さくら市氏家1297
【問】028-682-7123【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日は開館)祝休翌日(土日の場合は開館)第3火曜日、展示替え期間、年末年始(12月29日～1月3日)【料金】一般300円(210円)高校、大学生200円(140円)小、中学生100円(70円)※()は20名以上の団体料金【駐車場】あり



茂木町まちなか交流館 ふみの森もてぎ

【所在】茂木町茂木1720-1【開】(火～金)9時～19時(土日祝)9時～18時【休】月、祝休翌日、年末年始(12/29～1/3)【料金】無料【駐車場】あり



栃木県立博物館

【所在】宇都宮市睦町2-2
【問】028-634-1311【開】9時半～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日、県民の日の場合は開館)祝翌日(土日の場合は開館)年末年始、臨時休館日【料金】一般250円(200円)高校、大学生120円(100円)※()は20名以上の団体料金 ※特別企画展時は別途特別企画展観覧料が必要 ※6月第2土、日曜日、県民の日(6月15日)文化の日は無料【駐車場】あり(栃木県中央公園)



日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館

【所在】日光市今市304-1
【問】0288-25-7333【開】9時～18時(入館は17時15分まで)【休】月、祝休日(月曜の場合は翌日も休館)展示替え期間、年末年始(12/29～1/3)【料金】無料【駐車場】あり



那須野が原博物館

【所在】那須塩原市三島5-1
【問】0287-36-0949【開】9時～17時(入館は16時半まで)【休】月(祝日は開館)くん蒸期間(12/11～18)年末年始(12/28～1/4)【料金】一般300円(250円)高校、大学生200円(150円)小、中学生100円(50円)※()は20名以上の団体料金 ※特別展開催時の料金はその都度定める【駐車場】あり



船から鉄道へ ～越名河岸～

江戸時代、物資の輸送や人の行き来で街道などの陸路を利用した一方、船を使って川を行き来する水路が栄えました。下野国の場合、鬼怒川や渡良瀬川などが江戸へとつながっていたため、物資の上げ下ろし等を行った河岸が栄えました。そのひとつが、越名河岸(佐野市)です。

明暦年間(1655～57)に秋山川に開かれ、地元特産物を江戸へと運びました。そして江戸からは著名な文化人もやってきて、江戸の文化をもたらしました。また越名河岸跡から発掘された陶磁器から、ここが全国各地と結びついていたことがわかります。明治に入り蒸気船が定期運行し、やがて輸送・交通手段の主役が鉄道に移ると、かつての賑わいは少しずつなくなり、大正時代中頃にはその姿を消してしまいました。



大日本博覧会栃木県之部 須藤又市家(明治23[1890]年:栃木県立博物館蔵)須藤又市家は越名河岸の河岸問屋。馬車鉄道と船による物資が運ばれた様子がわかる。

駐車場 P トイレ 〇 マップアイコン

国指定史跡 寺野東遺跡

は-5

縄文人の水利用がわかる

田川の西にある旧石器から平安時代にかけてのムラや墓地があった遺跡。特に約四千年以上前の縄文時代の大きな集落跡からは、飲み水をくんだり、木の実をさらした水場遺構（みずばいこう）などが見つかっている。



水場遺構

おやま縄文まつりの広場/小山市梁

P 〇 〇 〇

【開館時間】9時～16時半【休館日】月（祝日は開館）祝日翌日（土日の場合は開館）【入館料】無料

入郷石畑の棚田

に-4

「耕して天に至る」景観

平成十二（一九九九年）農林水産省「日本の棚田百選」に選定。「棚田」とは、傾斜地にある稲作地のこと。斜面の崩落を防ぎ、また貴重な動植物の生息地となっている。地元住民のサポートを受けながら稲作体験もできる。



茂木町入郷

222 010 572*77

P 〇 〇 〇

木須川洞門

に-4

恩恵をもたらすトンネル

那珂川支流の木須川の洪水を防ぐため、長峰山の下を掘り取った、長さ四十七メートル、幅十五メートル、高さ二・六メートルのトンネル。明治四十四（一九二一年）に工事を開始、大正五（一九一六年）年に完成した。



茂木町小深/牧野

188 881 440*48

P X 〇 〇

唐桶溜

は-4

地域農業を支え続けて

約十二キロメートル離れた鬼怒川から水を引いて造られた溜池。宝永二（一七〇六）年、難工事の末、地元豪農・岡田八兵衛（宗山）によって完成された。平成二二（二〇一〇）年、農林水産省「ため池百選」に選定。



唐桶宗山公園/芳賀町東水沼

P 〇 〇 〇

市の堀用水

は-3-に-4

県内最大の農業用水

明暦二（一六五六年）年、水不足解消と新田開発のため、宇都宮藩が旧押上村（現・さくら市）の鬼怒川から現在の高根沢・芳賀町東部にかけて切り開かれた農業用水。現在は塩谷町佐貫の鬼怒川から水を取り入れ、真岡市まで整備されている。

塩谷町佐貫/真岡市

P X 〇 〇

今市用水円筒分水井

ろ-3

大谷川の清き水を配る

昭和二十八年に造られた全国的に珍しい水利施設。円筒分水井とは、円筒状の中心部から水を湧き出させ、円筒の外側へ水を一定の割合で分配する施設のこと。農業用水のほか、水道水など四つに分配している。

杉並木公園/日光市瀬川

P 〇 〇 〇



国登録建造物 宇都宮市水道資料館

ろ-3

宇都宮の水道はここから

日光杉並木沿いにある大正三（一九一四年）建造の木造洋館で、当時は宇都宮市の水道管理事務所として使われていた。館内には、宇都宮市の水道の歴史や当時使っていた道具や機械などを展示している。



日光市瀬川

P 〇 〇 〇

【問】0288-21-0158 【開館時間】9時～16時半【開館日】月～金曜日（祝日のぞく）年末年始（12/28～1/4）【入館料】無料

拓く

国指定史跡

桜町陣屋跡

は-5

「報徳」が生まれた場所

元禄十二（一六九九年）、小田原藩主大久保家の家・宇津家が設置した陣屋（役所）跡。文政六（一八二三年）、小田原藩主の命を受けて二宮金次郎（尊徳）がやってきて復興に貢献した。明治維新で陣屋は廃止された。



真岡市物井

P 〇 〇 〇

【問】0285-75-7155【開】9時～16時半【休】月（祝日は開館）祝日翌日（土日の場合は開館）年末年始（12/28～1/4）【料金】無料【駐車場】あり

二宮堰

は-4

先人たちの知恵の結晶

安政六（一八五九年）年、工事中断を乗り越えて、二宮金次郎（尊徳）の弟子・吉良（きら）八郎の監督のもと完成させた。田川から宝木用水（新川）へ水を引き込む役割を果たし、下流の宇都宮の農村を潤した。

大前神社

は-5

尊徳も祈った水辺の杜

五行川のほとりに鎮座し、「大前さま」の名で親しまれている。文政十（一八二七）年、二宮金次郎（尊徳）はここに籠り、桜町陣（現・真岡市物部地区）を流れる穴川用水改修の成功を祈ったという。



真岡市東郷

P 〇 〇 〇



二宮堰親水公園/宇都宮市徳次郎町

P 〇 〇 〇

いのる

町指定建造物

高麗神社

に-4

雨乞いと五穀豊穡を祈る

天文十八（一五四九年）年とも元禄年間（一六八八～一七〇四）の創建とも伝わる。境内では、お盆明けの土・日の二日間、風雨順調と五穀豊穡（ごこくほうじょう）を願う「田野辺の天祭（てんさい）」が行われる。

姥ヶ池

に-4

清き水が湧く聖なる泉

一年を通して水が枯れることなく、貴重な農業用水としても利用されていた。奈良時代の僧侶・勝道上人（じょうどうしようじん）が誕生した時に、この水を産湯（うぶゆ）に使ったという伝承が残されている。



姥ヶ池公園/芳賀町祖母井

P 〇 〇 〇



市貝町田野辺

間々田八幡宮

ろ-6

宿場町の鎮守の森

天平年間（七二九～七四九）の創建と伝わる。毎年五月五日、境内では豊作と健康を祈る「ジャガイマタ」（蛇まつり）が行われる。竹とワラで作られた十五メートル程の大蛇が、境内の池の水を飲む「水呑みの儀」は圧巻。



小山市間々田

P 〇 〇 〇

市指定建造物

船玉神社

は-4

水上交通の安全を祈る

江戸から明治中期にかけて、奥州道中から鬼怒川を通じて江戸への物資輸送で賑わった阿久津河岸（あくつかし）に鎮座。船頭たちの守護神を祀っているため、当初の境内は船の形を模していたという。



さくら市上阿久津

P X 〇 〇

行き交う

県指定建造物

岡部記念館(金鈴荘)

は-5

真岡木綿の繁栄を象徴

江戸時代末期、真岡に開店した鈴木屋岡部呉服店を継承していた岡部家の別荘で、昭和二十七（一九五二年）まで利用。岡部呉服店は地元特産の真岡木綿を取り扱い、鬼怒川の水運を利用して江戸まで運んでいた。



真岡市荒町

P 〇 〇 〇

【問】0285-83-2560（真岡木綿会館）【開館時間】9時～16時【休館日】火曜日（祝日の場合は翌日）【入館料】無料

乙女河岸跡

ろ-6

日光東照宮ゆかりの河岸

慶長五（一六〇〇）年、会津の上杉景勝を討つために武器などを思川から陸送したのがはじまりと言われている。以後、日光東照宮の改修（日光普請）のための資材や米などの物資の輸送の重要拠点として繁栄した。



小山市乙女

P 〇 〇 〇

国登録建造物 小川家住宅

ろ-6

乙女河岸の隆盛をしのぶ

江戸時代、小川家は乙女河岸で肥料問屋「車屋」を営み、明治末期に日光街道沿いに店舗や住居を移転した。明治四十五（一九二二）年建築の主屋のほか、明治二十七（一八九四）年建築の土蔵は乙女河岸時代のもの。



小山市立車屋美術館/小山市乙女3丁目

P 〇 〇 〇 【開館時間】(4/1～9/30)9時～17時(10/1～3/31)9時～16時(いずれも入館は開館の30分前まで)【休館日】月・第4金曜日(祝日は開館)祝日翌日(土日の場合は開館)年末年始(12/29～1/3)【観覧料】一般100円、高校・大学生50円、中学生以下は無料

福島県



とちぎ いにしへの 回廊 七

くらしを支えた水と川

モデルコース ①	小山市立博物館	1km 車3分	乙女河岸跡	1.5km 車5分	小川家住宅	1.9km 車7分	間々田八幡宮
	17km 車23分	寺野東遺跡	12.7km 車18分	道の駅にのみや	8.4km 車12分	桜町陣屋跡	
	6.5km 車13分	大前神社	1.7km 車5分	岡部記念館・久保記念観光文化交流館			
モデルコース ②	さくら市ミュージアム	2.1km 車5分	船玉神社	14.4km 車25分	唐桶溜	6.5km 車15分	道の駅はが
	0.9km 車3分	姥ヶ池	7.1km 車10分	高轟神社	11.5km 車20分	木須川洞門	
	1.8km 車7分	入郷石畑の棚田	12.7km 車20分	道の駅もてぎ			
モデルコース ③	道の駅うつのみや ろまんちっく村	4km 車10分	二宮堰	17km 車30分	二宮尊徳記念館		
	0.5km 徒歩7分	宇都宮市水道資料館	0.7km 徒歩10分	今市用水円筒分水井	1.5km 車5分	道の駅日光	
モデルコース ④	那須野が原博物館・第三分水三島堀	3.2km 車10分	那須開墾社烏ヶ森農場跡				
	23.5km 車35分	那須疏水旧取水施設	5.5km 車10分	道の駅明治の森・黒磯			

※距離および所要時間（実際の交通状況等により異なる場合があります）はあくまで目安です。

凡例

国指定・登録
県指定
市町指定
道の駅
文化施設
河岸



1
2
3

1
2
3

